

令和6年度第鶴岡市ケーブルテレビジョン放送番組審議会 会議録（概要）

- 期日 令和7年3月17日(月) 午後2時～午後3時30分
- 場所 櫛引庁舎第1会議室
- 出席委員
佐藤信弘、遠藤 守、清和ふみ子、鈴木 聡、宮城 妙、渡部政治、後藤 誠
- 欠席委員 芳賀恵美、齋藤良弘、菅原忠幸
- 事務局
櫛引庁舎：支所長、総務企画課長、総務企画課主査
朝日庁舎：総務企画課長
指定管理者：株式会社渡会電気土木 管理本部総務部総務課担当課長、
ケーブルテレビ制作課長、ケーブルテレビ制作課係長
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人
- 次第
 1. 開 会
 2. 挨 拶
 3. 報 告
自主放送番組の放送実績及び加入状況について
 4. 協 議
自主放送番組について（視聴）
 5. その他
 6. 閉 会

《会議概要》

1. 開 会
2. 挨 拶
審議会会長、櫛引庁舎支所長
3. 報 告
 - (1) 自主放送番組の放送実績及び加入状況について
指定管理者 渡会電気土木 総務課担当課長が資料に基づき説明
4. 協 議
 - (1) 自主放送番組について（視聴）
 - ①4/20 放送 「下本郷湯ノ沢川に鯉のぼり泳ぐ」
 - ②10/26 放送 「櫛引中学校3年生くしびき西部保育園との交流事業」
 - ③11/2 放送 「朝日中学校地域語り合い」

【委員意見】

委員：

番組のナレーション、カメラワーク共に素晴らしい出来栄である。

委員：

番組の構成、映像制作については、完成度がかなり高いと感じた。
テロップの出し方（基準）については、どのような考えで行っているのか。

ケーブルテレビ制作課長：

インタビュー等音声拾えている場合は、基本的にテロップは付けない。周辺の音が入る場合にテロップを活用している。

委員：

聴覚障害がある方にはテロップは有効と思うので活用を検討してはどうか。また、マナー化を防ぐため、リポーター形式を取入れてみてはどうか。

各視聴番組については、つぎのとおり

- ①映像ラストの風景の取込み方がとてもよかった。
- ②生徒たちの学習風景はナレーションだけでなく、もっと生徒の声を入れた方がよいと思う。
- ③話合いの中で、ブラッシュアップしていく成果や考え方の変化に的を当てた映像があれば良いと思った。

委員：

3つの番組について、映像、ナレーションがとても良かったと思うし、番組構成についても、地域の見る奥を伝えられたと思う。

- ①最後にインタビューを入れた方が良かったと思う。
- ②テロップがあれば、さらに視聴者の心に入ってくると思う。
- ③参加者の声、感想があればさらに良かったと思う。

委員：

全体的には、映像もよく、わかりやすい番組内容と思った。
子どもたちの生の声があればさらに良かったと思う。

委員：

インタビューで下方からの接写になるときは、鼻腔などが強調されるので、特に女性の時は注意が必要と思う。

委員：

朝日地域の年配者は、ウィークリー番組を朝から視聴する方が多く、知り合いが映し出されると、みんなで話合いが行われる等、地域のコミュニケーションが深まっている。

委員：

ケーブルテレビのコミュニティー番組を通じて、櫛引、朝日双方の交流が深まれば良いと思う。

委員：

大きくなったらKCTのカメラマンになりたいと思う園児がいたので、報告します。

委員：

特色ある企業、農家、ものづくり技能者などを取り上げはどうか

ケーブルテレビ制作課長：

仕事拝見等を企画した番組を特別番組として取り上げたことはある。公平性の観点もありませんが検討していきたい。

委員：

ライブ感を取入れたインタビューの番組も面白いと思う。

ケーブルテレビ制作課長：

ライブ的なインタビューの番組制作は、人的な問題もあり難しいが、今後検討していきたいと思う。

委員：

物件費や人件費高騰の中で、加入者も増加も見込めず経営が厳しくなっていくと思うが、今後、収益をどうしていくか考えなければならないのではないかな。

委員：

エリア拡大による利用料金の確保も考えていつてはどうか。

櫛引総務企画課長：

エリア拡大については、設備経費の面から困難と考える。

人件費・物価高騰のなかでは、将来的に適正な利用料金について、検討を行う必要があると認識している。

5. その他

なし

6. 閉 会

以上